

・ 調査の概要

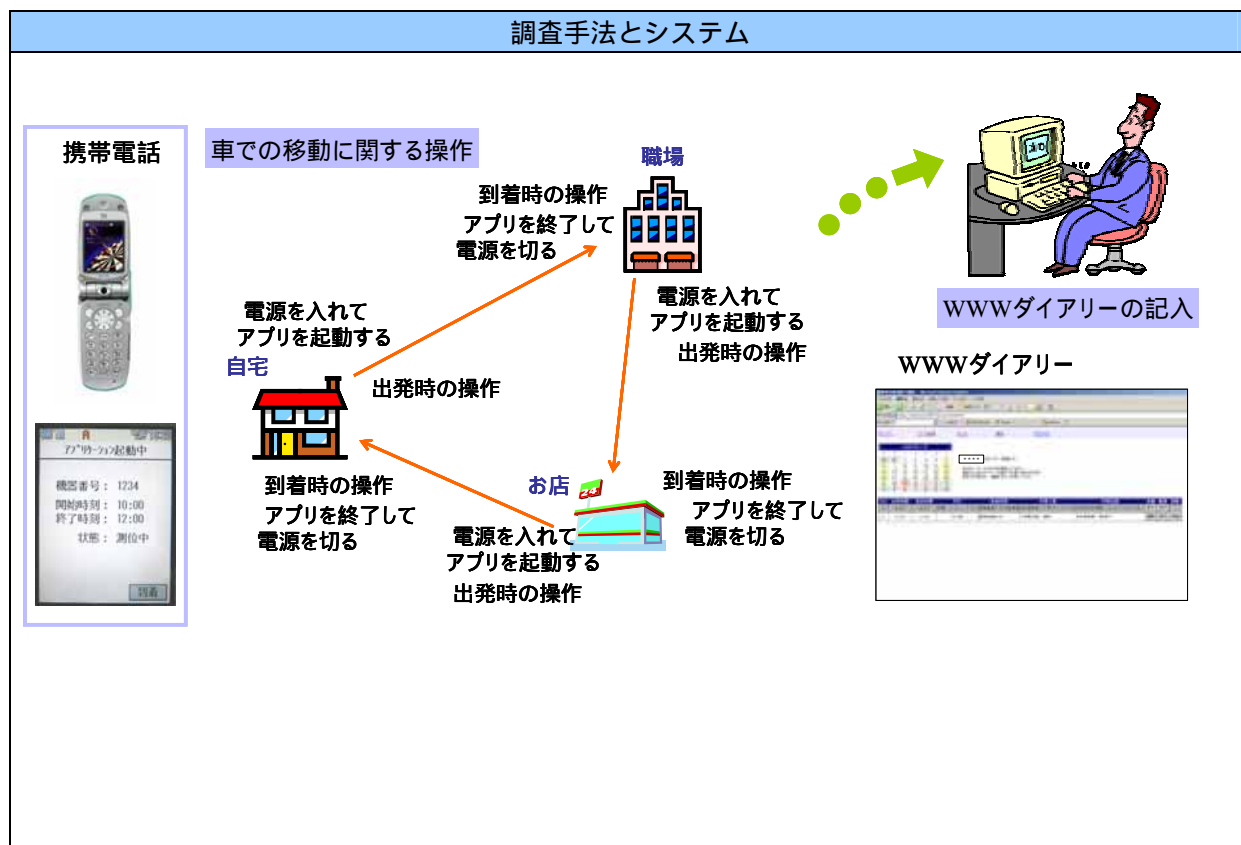
調査名	阪神高速道路における平日時間帯割引及び土曜・休日割引社会実験の効果分析
キーワード	週末割引、平日時間帯別割引
調査地域	大阪府、兵庫県
調査期間	平成 17 年 2 月 7 日～2 月 20 日及び平成 18 年 1 月 16 日～1 月 22 日（計 21 日間）
調査人数	平成 16 年度：58 人、平成 17 年度：92 人
調査主体	阪神高速道路（株）（平成 17 年度は阪神高速道路公団）
調査の特徴 ・ PP 利用の効果など	社会実験での行動変化を個人レベルで把握することができた。 上記の社会実験以外に、割引率を変更して設定し、その行動変化についても把握した。

背景と目的

平成 15 年 12 月の政府与党申し合わせにより、阪神高速および首都高速は平成 20 年度を目処に ETC を利用した対距離料金制に移行することとされた。平成 17 年 7 月に発足した「有料道路の料金体系にかかる社会実験協議会」では、対距離料金制の設計と、その他 ETC を利用した種々の料金施策を検討するための基礎データを収集することを目的として、同年 10 月より、阪神高速全線において料金割引社会実験を開始している。

今回、阪神高速道路のヘビーユーザーを対象（モニター）とし、社会実験実施前と実施中の車移動に関する個人レベルの交通行動データ（移動軌跡と目的などの詳細）を収集するために、プローブパーソン調査を適用した。

調査手法とシステム



調査結果

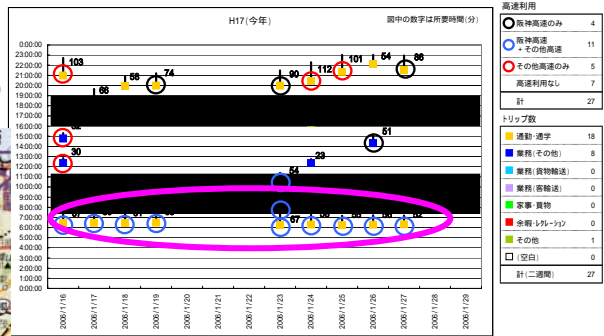
平日時間帯別割引 (社会実験)

出発時間を変更したモニター

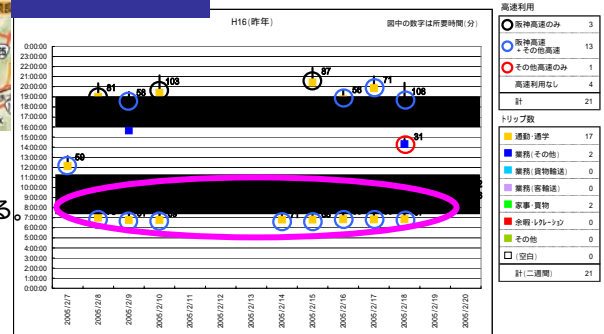
- ・乗用車使用
- ・通勤目的
- ・阪神高速とその他高速を乗り継ぎ (池田線~中国道)



社会実験中



社会実験前



社会実験前年は朝7時過ぎに料金所を通過していたが、実験中は若干出発を早めて6時台に料金所を通過している

朝 6 時台 30%、50%割引 (モニターのみ対象)

経路を変更したモニター

- ・30%割引, 50%割引の期間中に阪神高速を多く利用
- ・国道43号 西大阪線(北津守~安治川)



- ・西大阪線の利用促進
- ・西大阪線へのシフトによる国道43号沿道の環境改善
- ・走行時間の短縮

